

最近の経済動向

平成30年8月号

北海道の景気動向(平成30年6月の経済指標を中心として)

持ち直している

■ 鉱工業生産動向

- P 1 生産活動(鉱工業生産指数)
持ち直しの動きがみられる

■ 需要動向(消費・投資)

- P 2 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、
専門量販店販売額、新車登録台数)

回復しつつある

- P 3 住宅建設(新設住宅着工戸数)
減少している

- P 4 公共工事(公共工事請負金額)
減少している

- P 4 観光(来道者数)
改善が進んでいる

- P 5 輸出入(輸出入額)
輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

■ 企業倒産

- P 6 企業倒産(件数、負債総額)
倒産件数、負債総額とも減少した

■ 雇用動向

- P 7 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善が進む中、人手不足感がみられる

- P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■ 物価動向

- P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■ 企業の業況感

- P 8 企業経営者意識調査
前期から下降している

■ 企業情報

- P 9 企業のみなさまから伺いました

■ 地域の経済動向

- P 11 道南地域、道央地域、道北地域、オホーツク地域、十勝地域、釧路・根室地域

■ 景気動向指数

- P 17 北海道の景気動向指数

北海道経済部経済企画局経済企画課

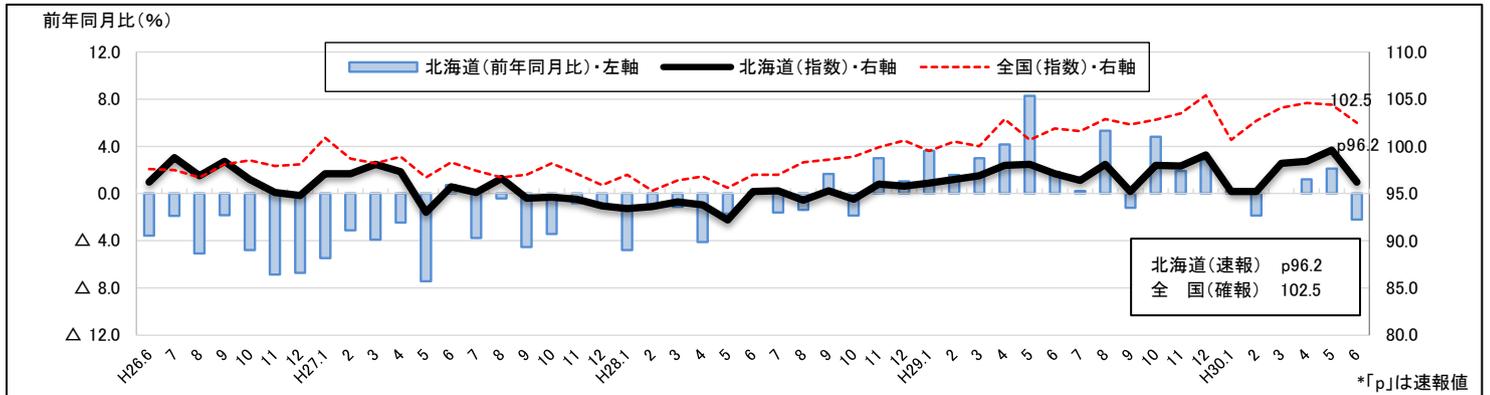
生産活動～持ち直しの動きがみられる

鉱工業生産指数（6月）

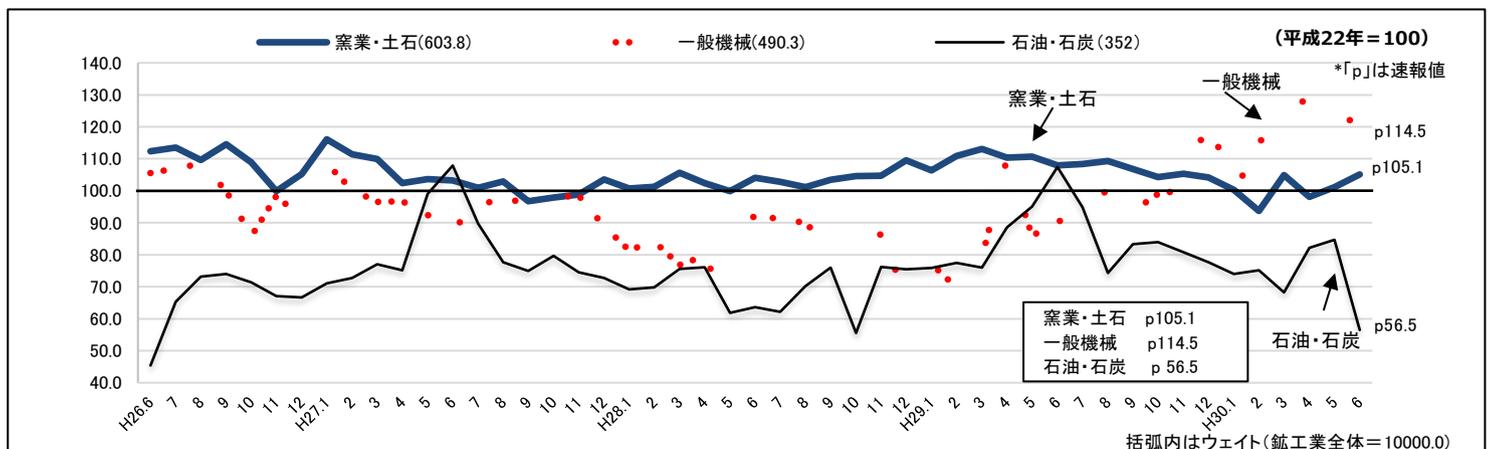
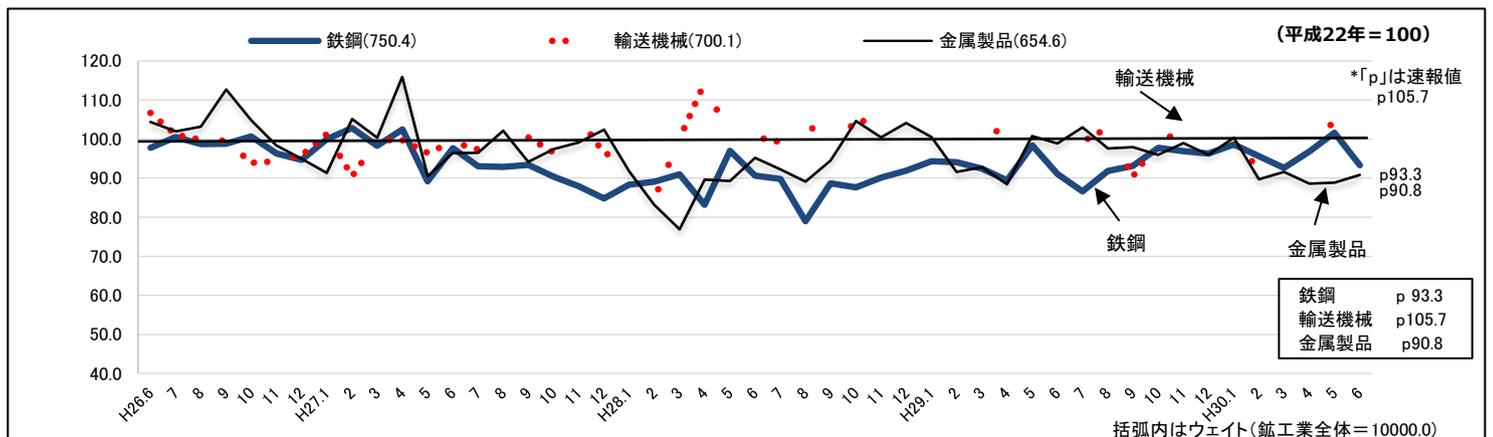
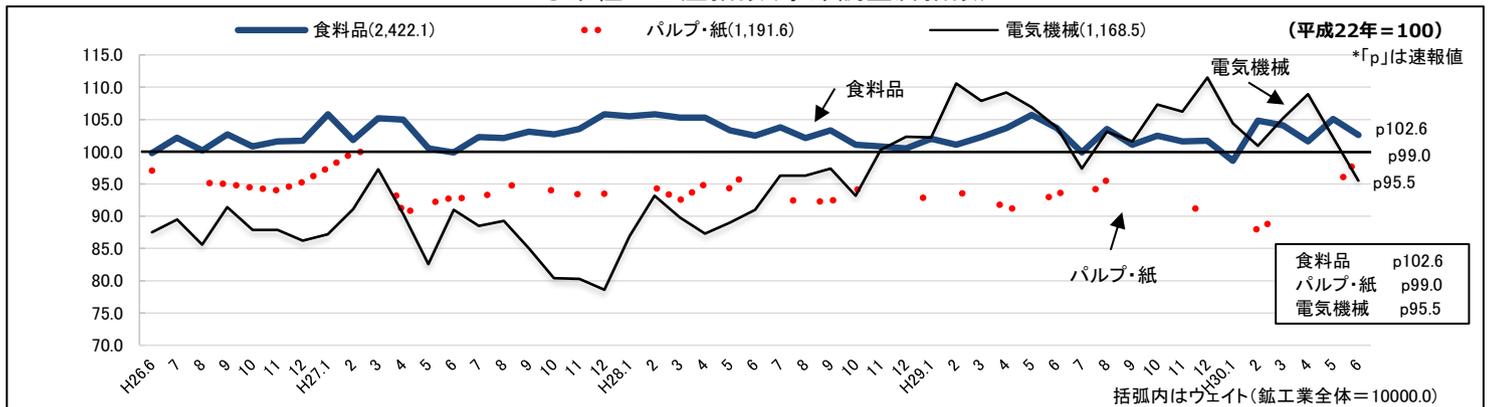
鉱工業生産指数(季節調整済)は、96.2で前月比△3.4%(5か月ぶりの低下)であり、原指数による前年同月比は、△2.2%(4か月ぶりの低下)となった。業種別にみると、石油・石炭製品工業等11業種が前月比低下、パルプ・紙・紙加工品工業等の5業種が前月比上昇となった。

鉱工業生産指数(季節調整済指数)

(平成22年=100)



主な業種の生産指数(季節調整済指数)



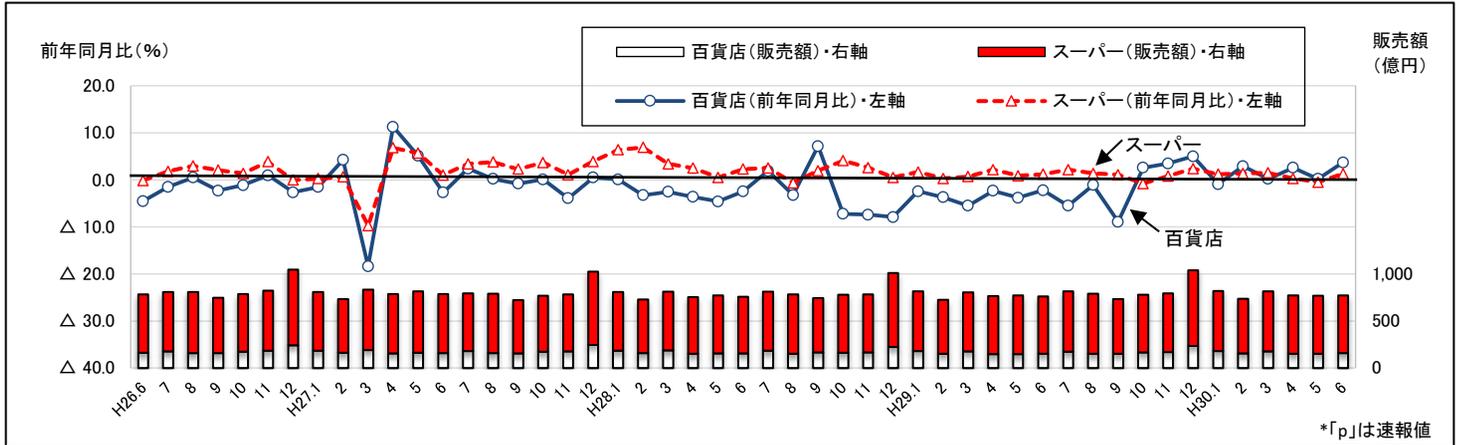
(資料：北海道経済産業局)

■個人消費～回復しつつある

百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(6月)

- ・百貨店の販売額は、158億円で前年同月比3.7%の増加となり、5か月連続で前年を上回った。品目別にみると、飲食料品は前年を下回ったものの、衣料品、身の回り品、その他は前年を上回った。
- ・スーパーの販売額は、615億円で同1.3%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。品目別にみると、衣料品、身の回り品は前年を下回ったものの、飲食料品、その他は前年を上回った。

百貨店・スーパー販売額と前年同月比【全店ベース】

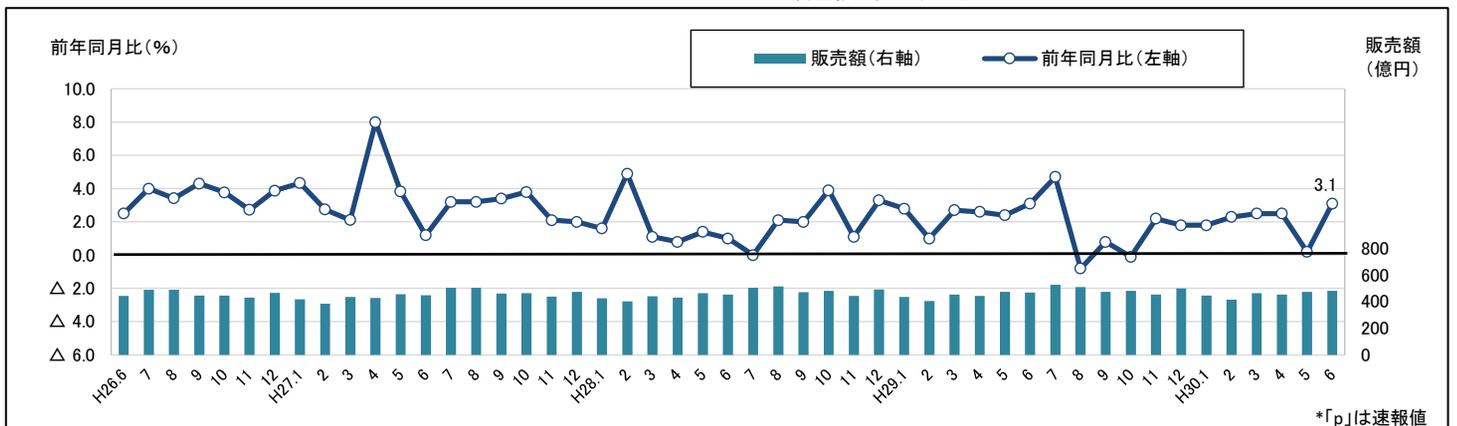


(資料：北海道経済産業局)

コンビニエンスストア販売額(全店)(6月)

- ・コンビニエンスストア販売額は、482億円で前年同月比3.1%の増加となり、8か月連続で前年を上回った。

コンビニエンスストア販売額と前年同月比

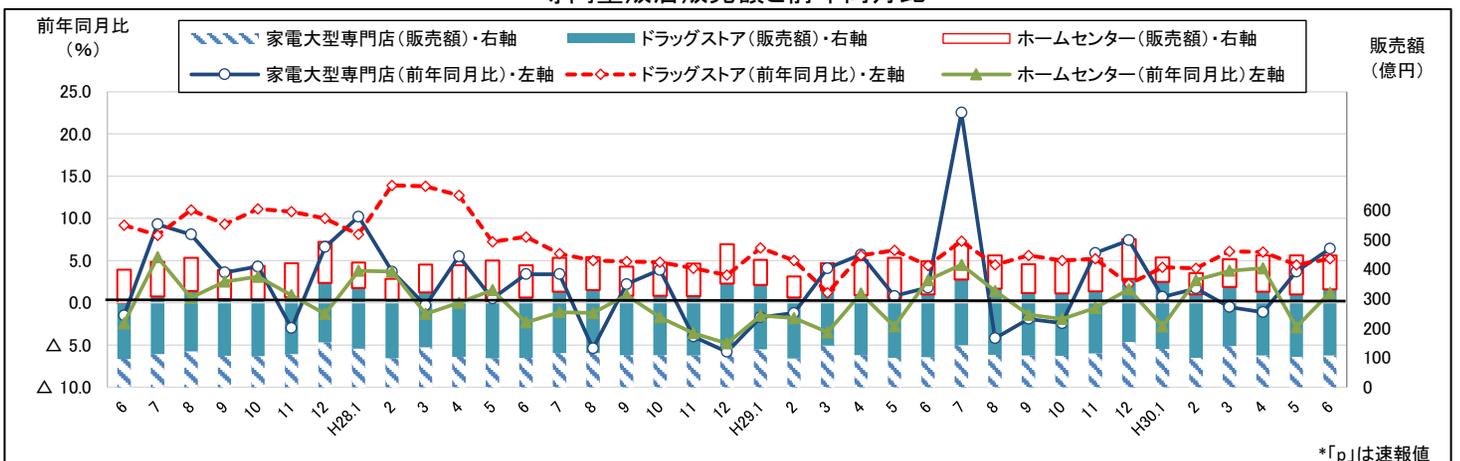


(資料：経済産業省)

専門量販店販売額(6月)

- ・家電大型専門店販売額は、108億円で同6.4%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。
- ・ドラッグストア販売額は、224億円で前年同月比5.2%の増加となり、38か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンター販売額は、114億円で同1.2%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。

専門量販店販売額と前年同月比

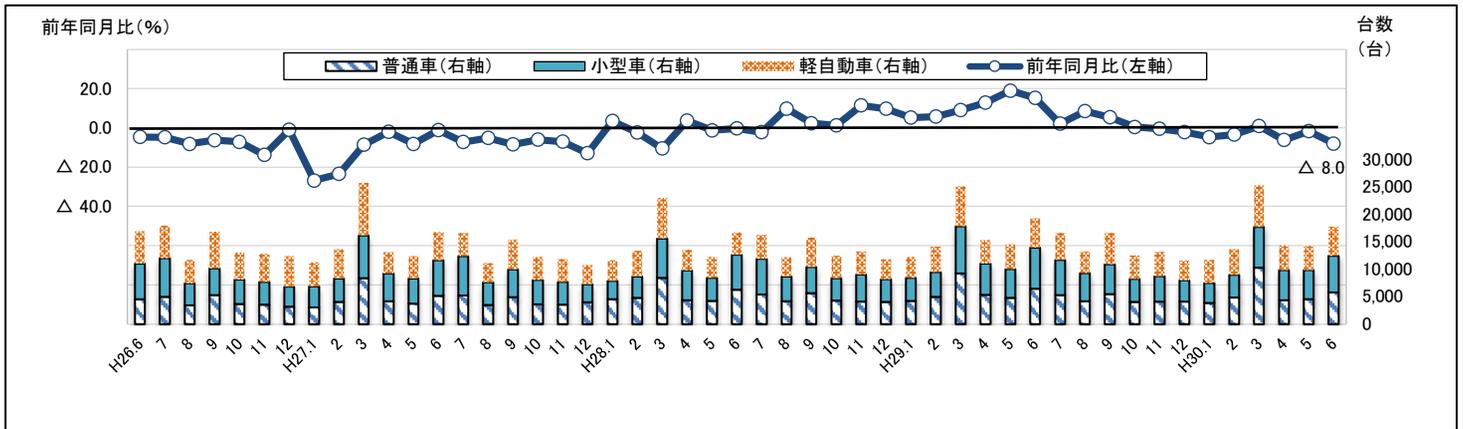


(資料：経済産業省)

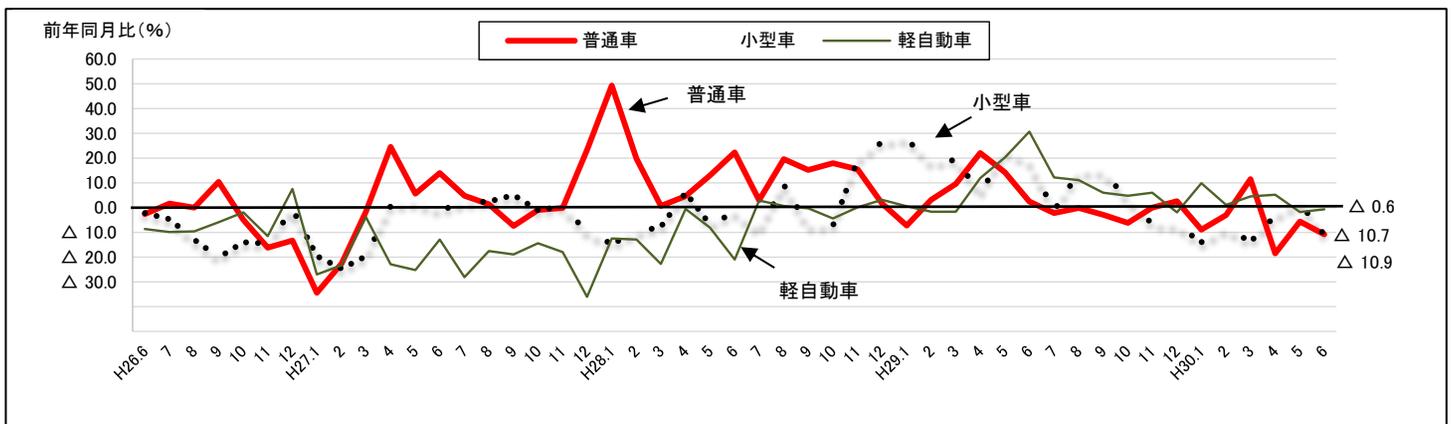
新車登録台数（6月）

新車登録台数は、17,730台で前年同月比8.0%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は、5,754台で同10.7%の減少、小型車は、6,680台で同10.9%の減少、軽自動車は、5,296台で同0.6%の減少となった。

新車販売台数と前年同月比



車種別販売台数の前年同月比



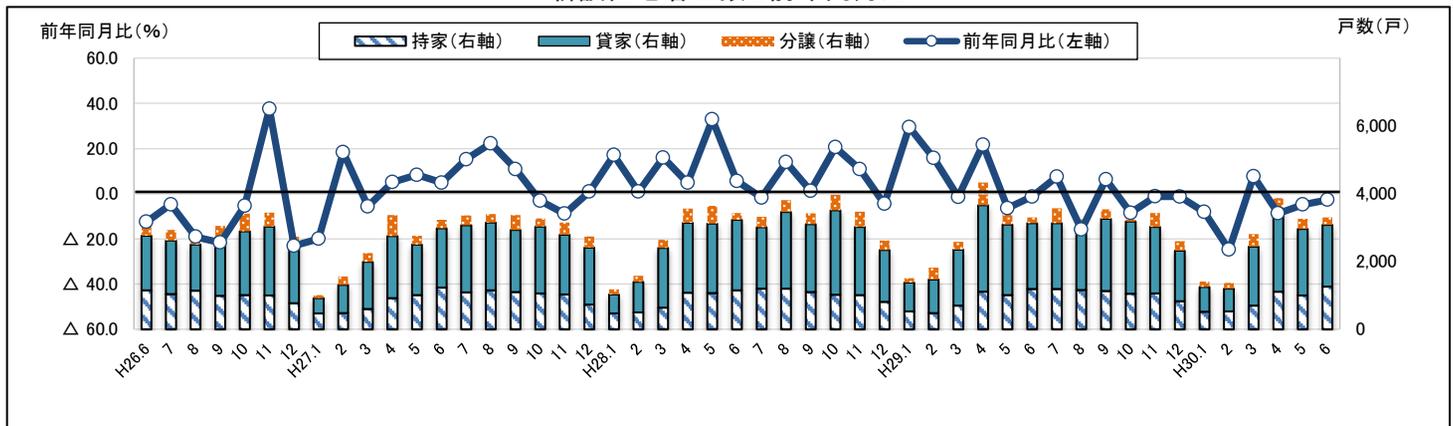
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

住宅建設～減少している

新設住宅着工戸数（6月）

住宅着工戸数は、3,319戸で前年同月比2.7%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、持家は、1,259戸で同6.2%の増加、貸家は、1,821戸で同6.5%の減少、分譲住宅は、225戸で同37.2%の増加となった。

新設住宅着工数と前年同月比



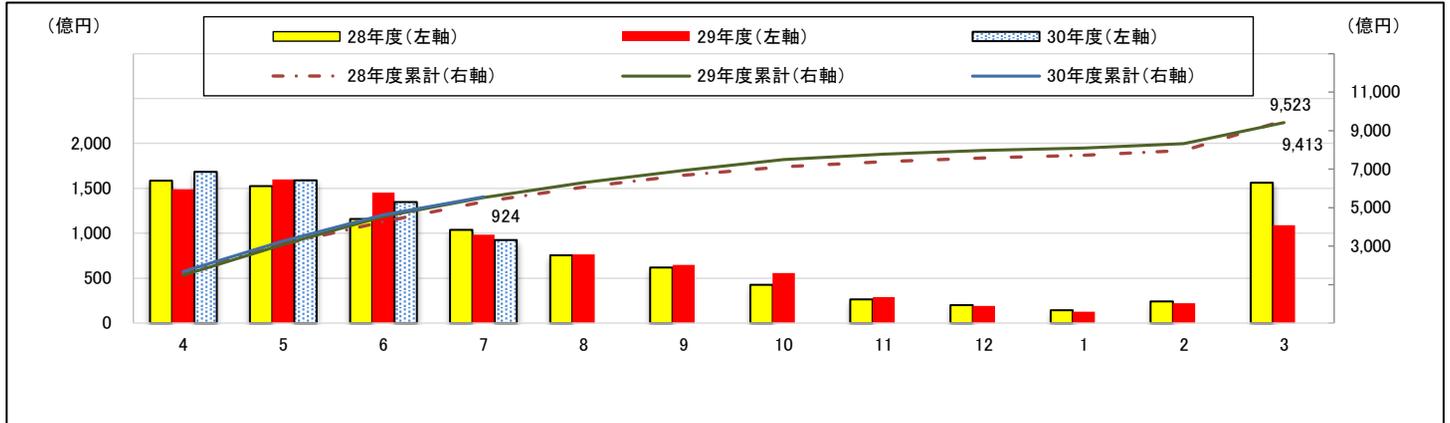
(資料：国土交通省)

■公共工事～減少している

公共工事請負金額（7月）

請負金額は、924億円で前年同月比6.2%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。工事目的別にみると、生活基盤が386億円(全体の41.8%)、産業基盤が212億円(同22.9%)、農林・水産が157億円(同17.1%)、治山・治水が128億円(同13.9%)、その他が39億円(同4.3%)となっている。

公共工事請負金額



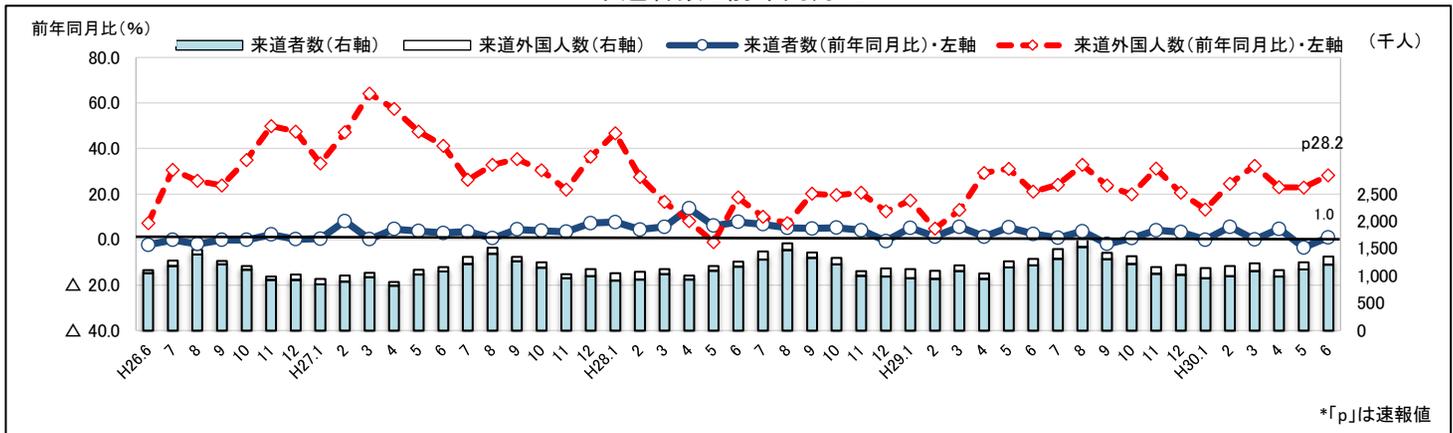
(資料：(株)北海道建設業信用保証)

■観 光～改善が進んでいる

来道者数（6月）

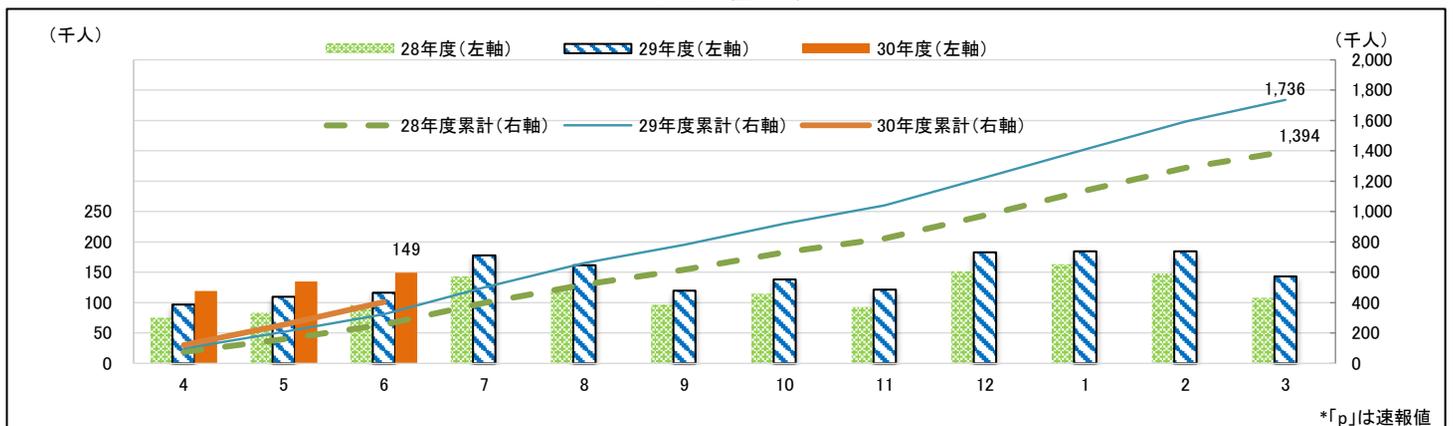
来道者数は、120万8千人で前年同月比1.0%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。本道に直接入国した外国人は、14万9千人で同28.2%の増加となり、25か月連続で前年を上回った。

来道者数と前年同月比



(資料：(公社)北海道観光振興機構、法務省入国管理局)

来道外国人数



(資料：法務省入国管理局)

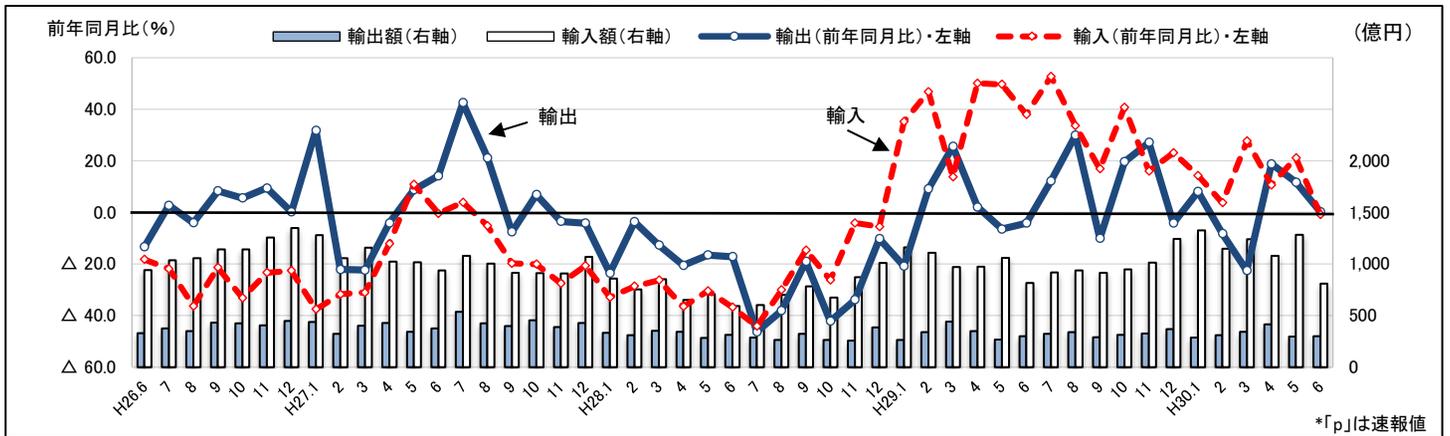
■輸出入～輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

輸出入額（6月）

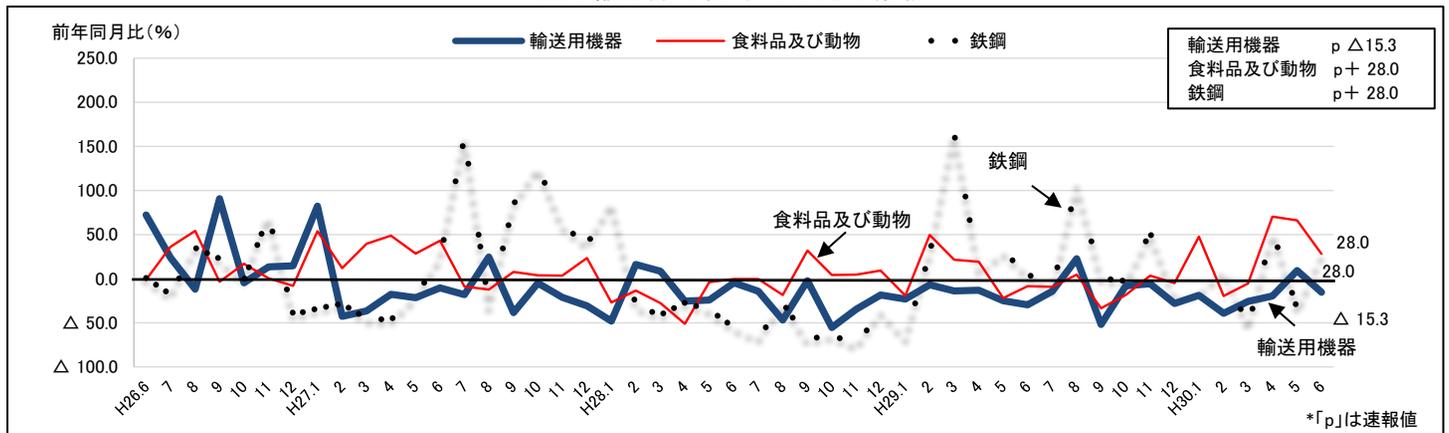
・輸出額は、299億円で前年同月比0.2%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。
品目別にみると、自動車の部分品、有機化合物などが減少したものの、魚介類・同調製品、鉄鋼、鉄鋼くずなどが増加となった。

・輸入額は、808億円で同0.9%の減少となり、18か月ぶりに前年を下回った。
品目別にみると、石油ガス類、飼料などが増加したものの、石油製品、原油・粗油、一般機械などが減少となった。

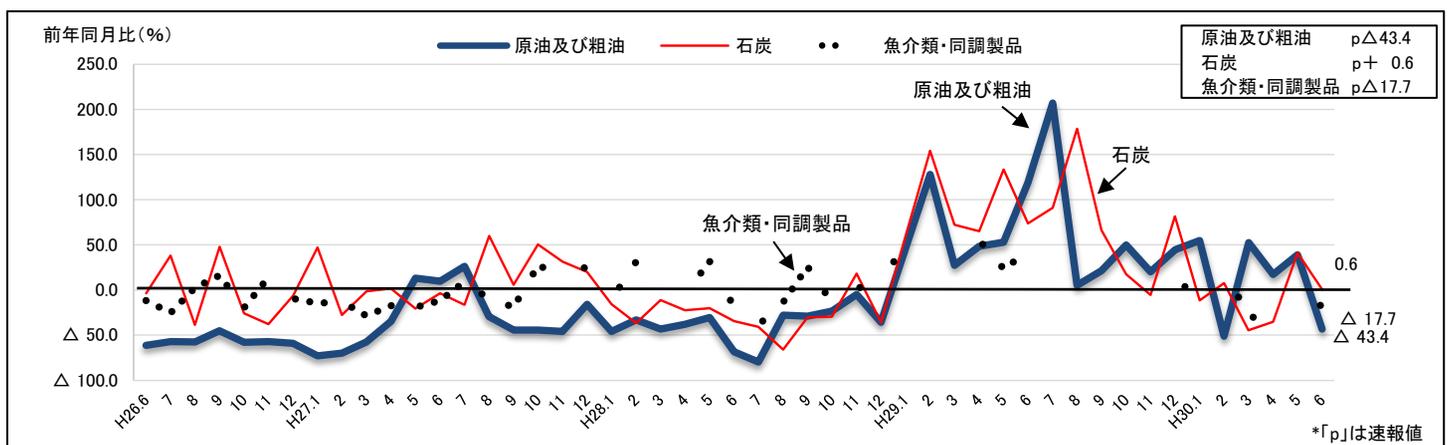
輸出入額と前年同月比



主な輸出品の前年同月比の推移



主な輸入品の前年同月比の推移



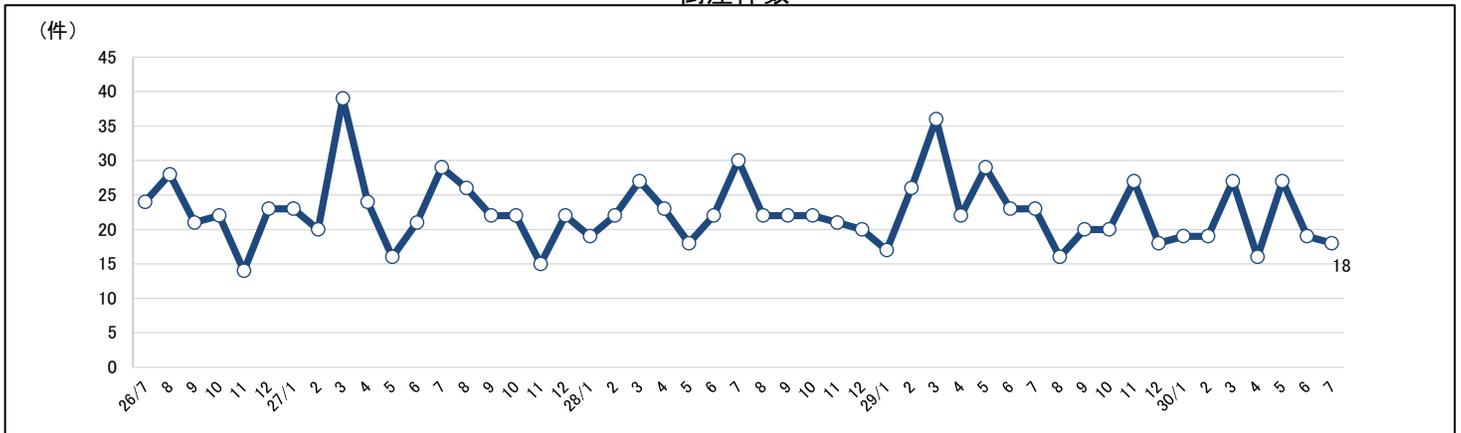
■企業倒産～倒産件数、負債総額とも減少した

企業倒産（7月）

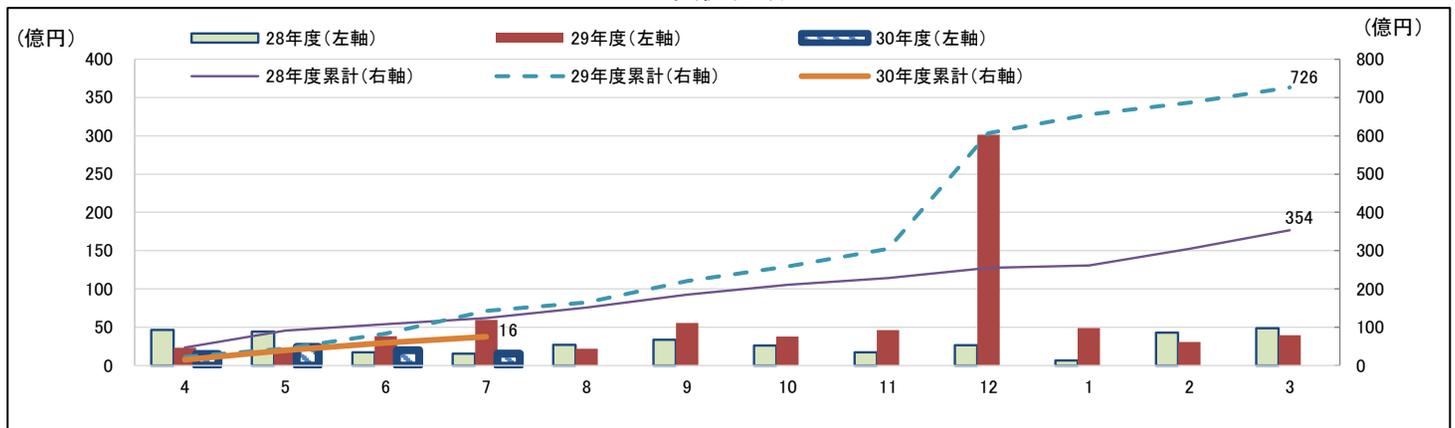
企業倒産件数は、18件で前年同月比21.7%の減少となり、6か月連続で前年を下回り、負債総額は、15億6千万円で同74.0%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。

原因別で見ると、販売不振が12件（66.7%）で大部分を占め、業種別では、サービス・他が8件（44.4%）で最多となり、小売業が5件（27.8%）、建設業が3件（16.7%）と続いた。

倒産件数



負債総額



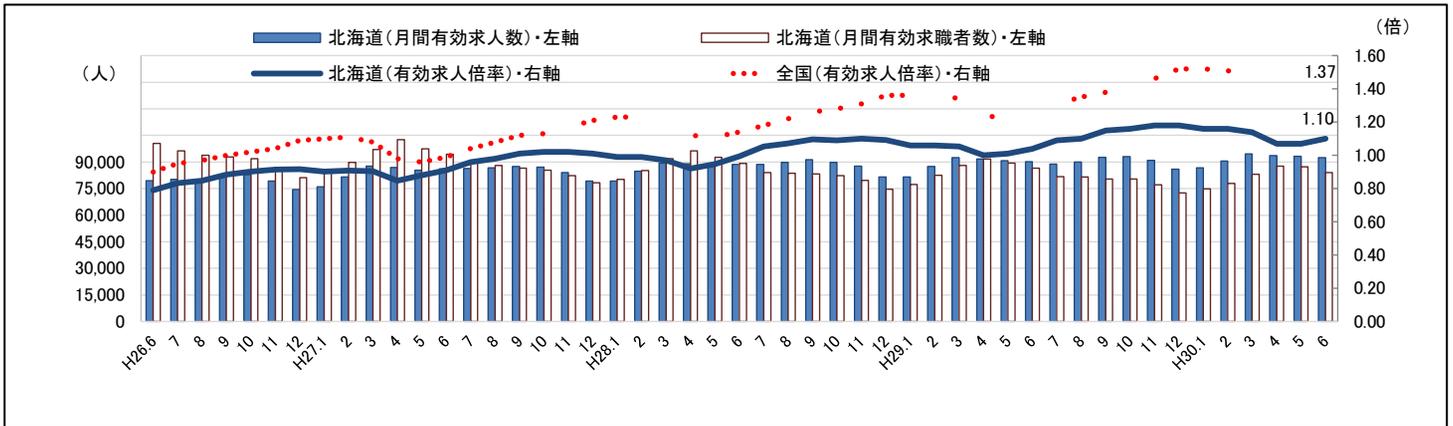
(資料：(株)東京商工リサーチ北海道支社)

■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

月間有効求人数・求職者数・有効求人倍率（6月）

月間有効求人数は、9万2,386人で前年同月比2.5%の増加となり、101か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、8万3,966人で同2.9%の減少となり、80か月連続で前年を下回った。
 有効求人倍率は、1.10倍で前年同月差で0.06ポイントの増加となり、101か月連続で前年を上回った。

有効求人倍率(常用)・求人数・求職者数



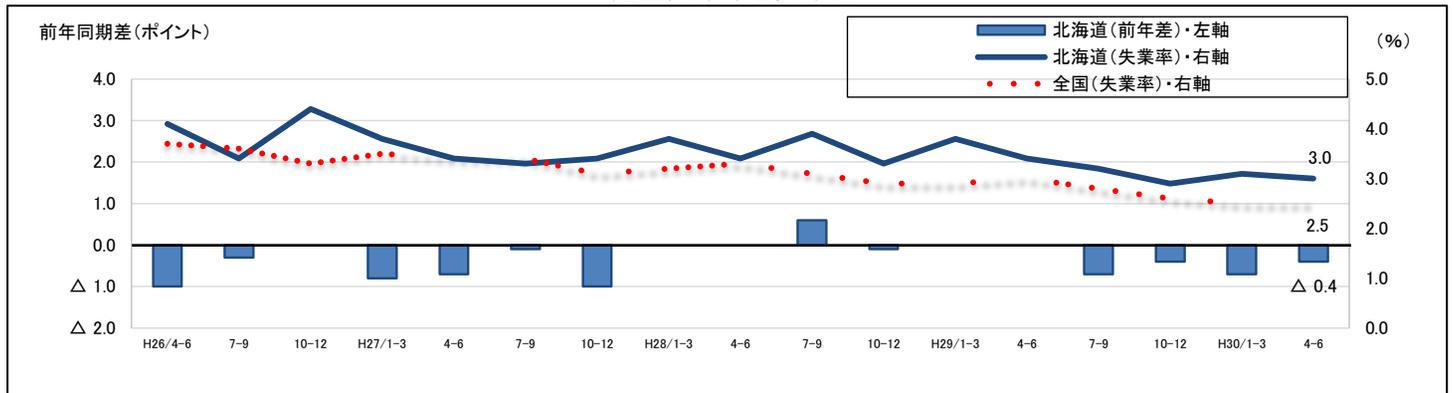
(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

■失 業

完全失業者数、完全失業率(30年4-6月期)

完全失業者数は、8万人で前年同期と比べ、1万人減少となっている。
 完全失業率は、3.0%で前年同期と比べ、0.4ポイント低下となっている。

完全失業率と前年差



(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

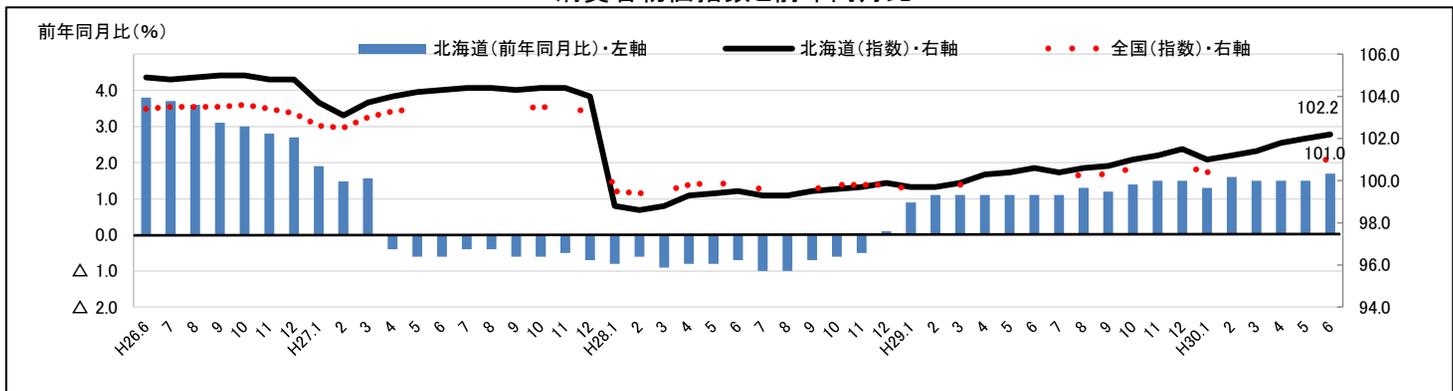
■物 価～消費者物価指数は前年を上回った

消費者物価指数(生鮮食品除く)(6月)

消費者物価指数は、102.2で前年同月比1.7%の上昇となり、19か月連続で前年を上回った。

消費者物価指数と前年同月比

(平成27年=100)



(資料:総務省)

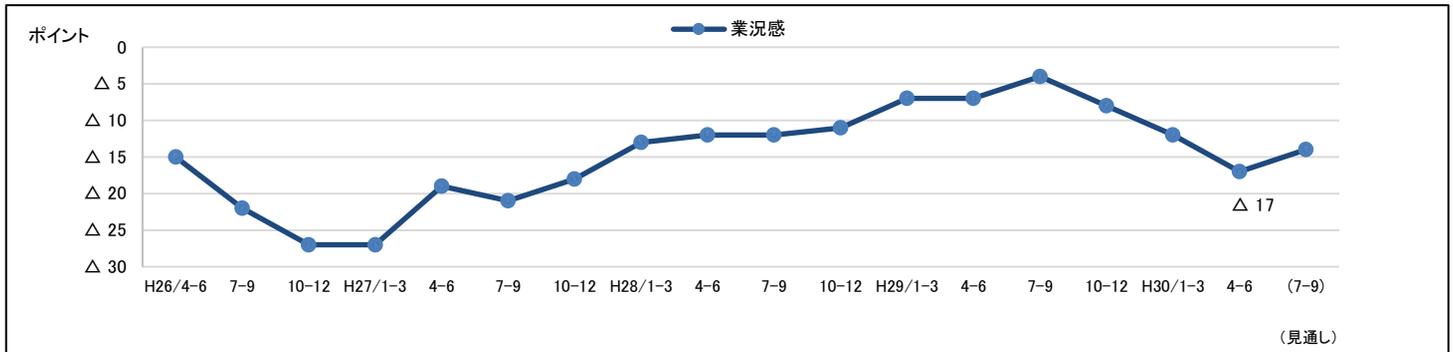
■企業の業況感

企業経営者意識調査（30年4-6月期）

今期の業況感BSIは、△17で前期から5ポイント下降した。

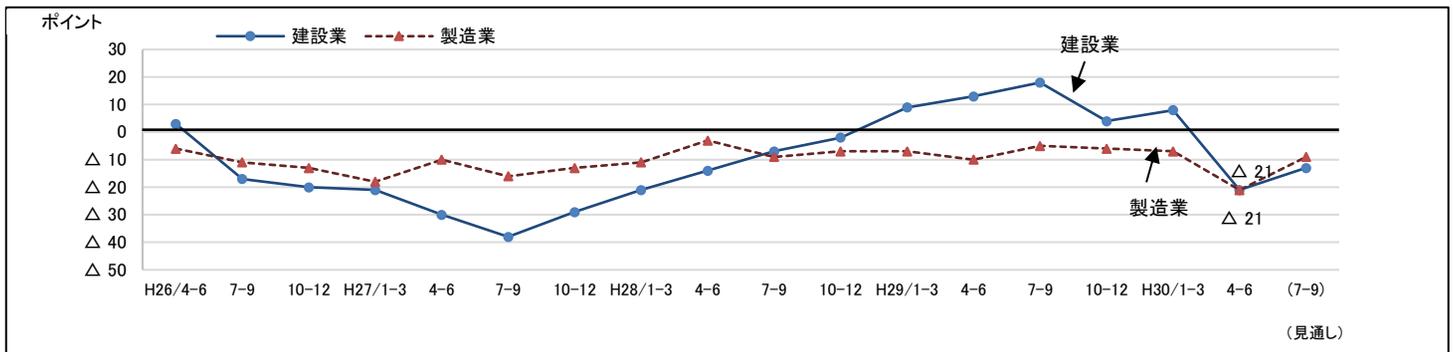
- ・業種別では、卸売・小売業、サービス業で上昇、建設業、製造業、運輸業で下降した。
- ・地域別では、道南、道央で上昇、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室で下降した。

企業の業況感の推移



(資料:北海道)

業種別業況感(建設業、製造業)



(資料:北海道)

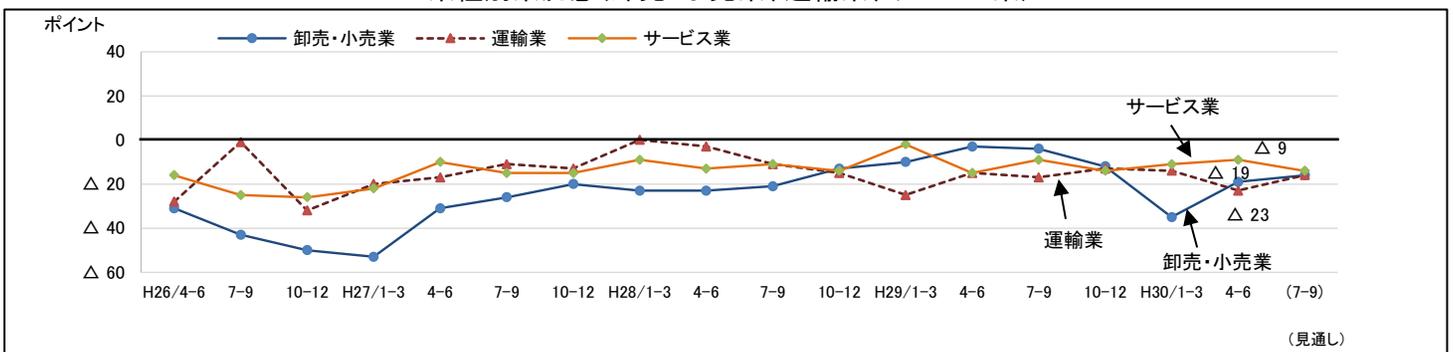
【建設業】 29ポイント下降 (前期 + 8 → 今期 △ 21)

- ・土木工事業や建築工事業、電気工事業がマイナスに転換
- ・一般土木建築工事業や舗装工事業、電気通信・信号装置工事業でマイナス幅が拡大

【製造業】 14ポイント下降 (前期 △ 7 → 今期 △ 21)

- ・セメント・同製品製造業や建設用・建築用金属製品製造業、一般産業用機械・装置製造業がマイナスに転換
- ・水産食料品製造業や農業用機械製造業などでマイナス幅が拡大

業種別業況感(卸売・小売業、運輸業、サービス業)



(資料:北海道)

【卸売・小売業】 16ポイント上昇 (前期 △ 35 → 今期 △ 19)

- ・化学製品卸売業や鉄鋼製品卸売業などでプラス幅が拡大
- ・農畜産物・水産物卸売業、建築材料卸売業、自動車小売業などでマイナス幅が縮小

【運輸業】 9ポイント下降 (前期 △ 14 → 今期 △ 23)

- ・沿海海運業がマイナスに転換
- ・一般乗用旅客自動車運送業や一般貸切旅客自動車運送業、倉庫業などでマイナス幅が拡大

【サービス業】 2ポイント上昇 (前期 △ 11 → 今期 △ 9)

- ・産業用機械器具賃貸業や産業廃棄物処理業、食堂・レストランなどでプラス幅が拡大
- ・旅館・ホテル業やソフトウェア業がマイナスに転換

[企業情報]

□企業のみなさまから伺いました

◆百貨店（道央地域）

【引き続き堅調なインバウンド消費の動き】

7月は、昨年と比べ土曜日が1日少ない曜日廻りだったことやクリアランスセールの日程が変化したこと、また、天候に恵まれなかったことで婦人服などの衣類が不調で売上に影響を与えた。

インバウンドについては、引き続き化粧品や特選ブランド品が堅調な動きとなっている。

◆スーパー（道央地域）

【天候に恵まれなかったが売上は前年並を維持】

7月は、昨年と比べて土曜日が1日少なく、前半、前線の停滞により記録的な大雨になるなど、天候にも恵まれなかったが、月末に行った販促バーゲンが好評だったことから、売上は前年並みを維持することができた。

今年の土用丑の日は、給料日前だったこともあり、大きな動きはなかったが、単価の高い国産ウナギの健闘が目立った。

◆コンビニエンスストア（道央地域）

【天候不順の影響で売上が減少】

7月の前半は、長雨、低温で客足が鈍く、特に、アイスや飲料水は不振だった。後半、天候は持ち直したが、前半の影響が大きく、月間では苦戦となった。

【海水浴客の需要は低下傾向】

7月後半の好天により、花火大会など各地イベントの客入りは好調。一方、海水浴客は、行楽として年々需要が低下している。

◆製造業（牛乳・乳製品）（道央地域）

【最近の売上状況】

テレビの情報番組で牛乳の効能が特集されたことや折からの猛暑の影響等により売上は堅調。一方で異常気象による生乳生産への影響が懸念され、年末需要期のバター生産用原料乳の確保が喫緊の課題である。

【今後の取組】

本州では高齢化による離農などで生乳の生産が減少しているが、北海道では国の補助金の活用などにより、酪農の大規模化や乳牛の頭数を増やし、本州の生乳の減産分を補完している。

生産工程の自動化を進めると共に、働き手の確保が困難な状況を克服すべく、冷凍倉庫内作業に、AIを活用した設備投資を進めており、新鮮な北海道ブランドの牛乳や乳製品の全国販売を一層強化していく。

◆不動産業（建物売買業）（道央地域）

【最近の売上状況】

建築資材の高騰と人手不足による人件費の上昇で、札幌市内のマンションの価格が押し上げられているため、契約率は下がっている。

価格が上昇し、以前と比べると、購入する年齢層も上がり、共働き世帯の購入が増えるなど顧客側の変化もみられる。

懸念しているのは、建築費の高止まりと来年予定されている消費税増税後の需要の落ち込みや、最近では、金利についても注視している。

◆サービス業（建設機械レンタル）（道央地域）

【最近の売上状況】

道内の公共工事関連については、2016年夏の十勝、道東の台風災害の復興事業が、昨年11月～今年4月で一段落しているため、下期で売上に反動減が多少見込まれるが、TPPにおける国と道の農業関連の事業や道横断自動車道の小樽から余市までの延伸などの事業は今後も継続される。

また、民間事業関連については、電力関連事業の需要が大幅に伸びており、今後、各地で風力、メガソーラー、バイオマスなどの大型プラントの建設が見込まれている。

道外においては、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、リニア中央新幹線のインフラ建設の大手ゼネコンの建設機械レンタルの需要が旺盛であり、売上は堅調に推移している。

◆ホテル・旅館業（道央地域）

【インバウンドの増加により業績は好調に推移】

新千歳空港の国際定期便の増便などによりインバウンド客が増加しており、客室稼働率、客室単価ともに伸びている。富裕層からボリュームゾーンまで客層も多様化している。

【生産性向上の努力が必要】

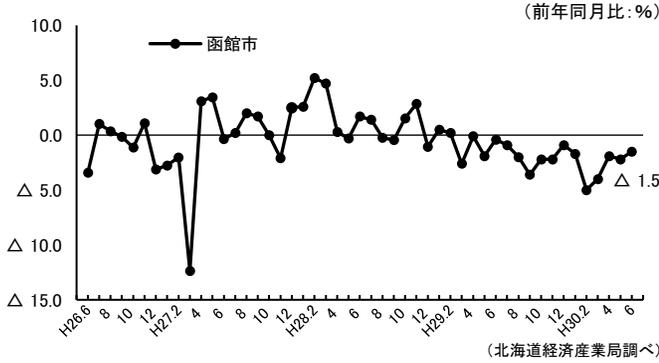
人手不足は依然として深刻であるものの、AIの活用など、少ない人員による生産性向上の努力をしなければならないと考えているが、どうしても人手が必要な業務もあり、社員の高齢化も進んでいることから、今後の若者への技術の継承が課題となっている。

[地域の経済動向]

■道南地域(渡島、檜山)

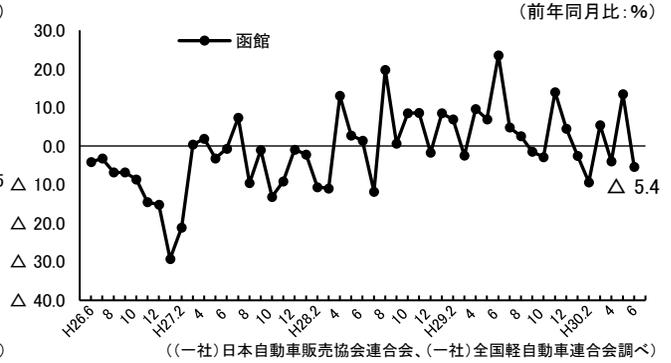
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(6月)

16か月連続で前年を下回った



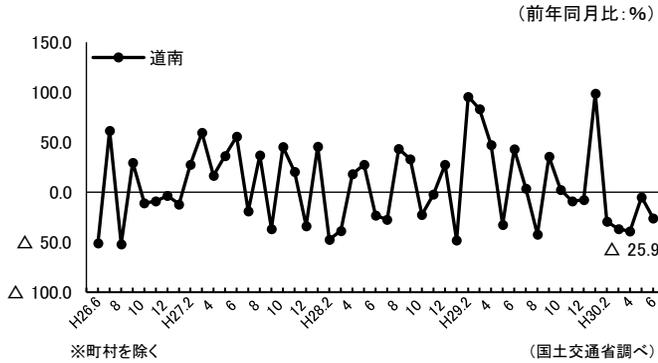
◆新車登録台数(乗用車)(6月)

2か月ぶりに前年を下回った



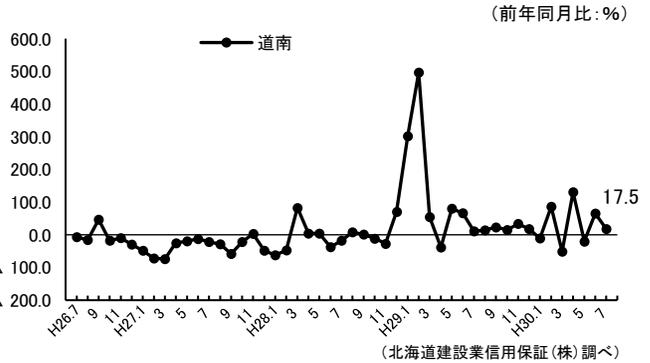
◆新設住宅着工戸数(6月)

5か月連続で前年を下回った



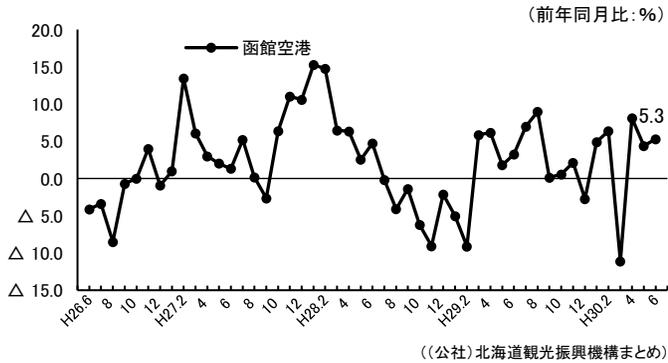
◆公共工事請負金額(7月)

2か月連続で前年を上回った



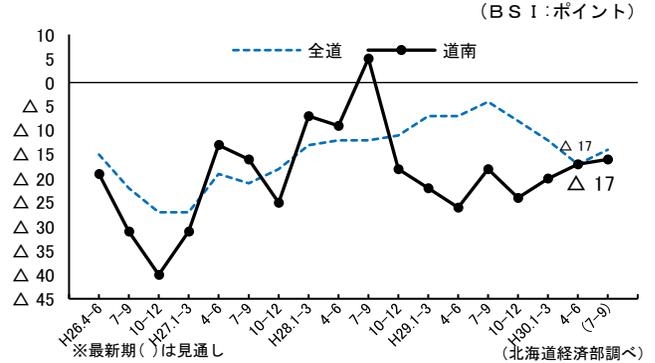
◆航空機利用による来道者数(着地別)(6月)

3か月連続で前年を上回った



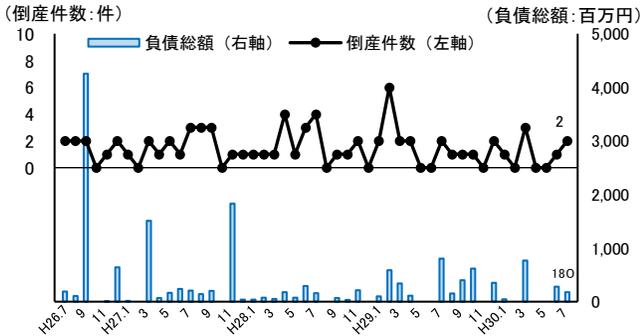
◆企業の業況感(4-6月期)

前期からマイナス幅が縮小した



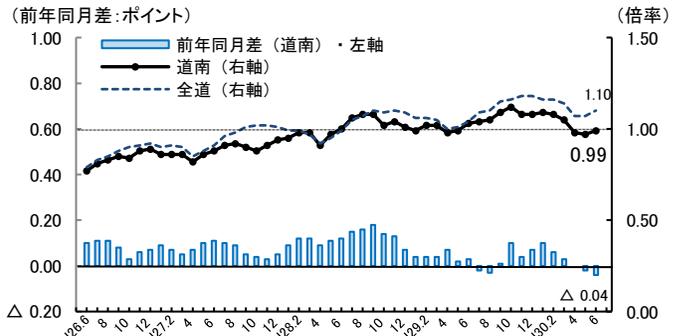
◆企業倒産件数・負債総額(7月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(6月)

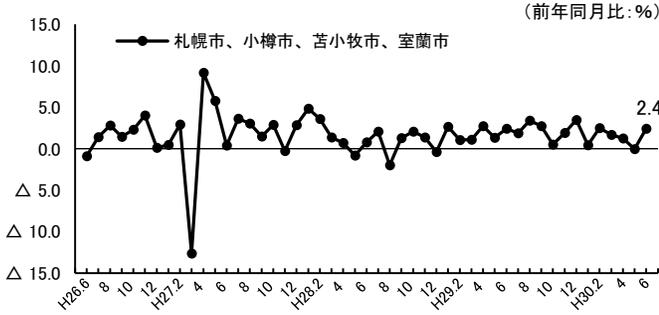
2か月連続で前年を下回った



■道央地域（石狩、空知、後志、胆振、日高）

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース) (6月)

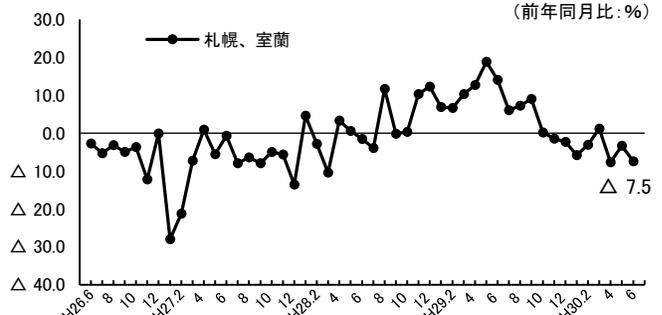
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (6月)

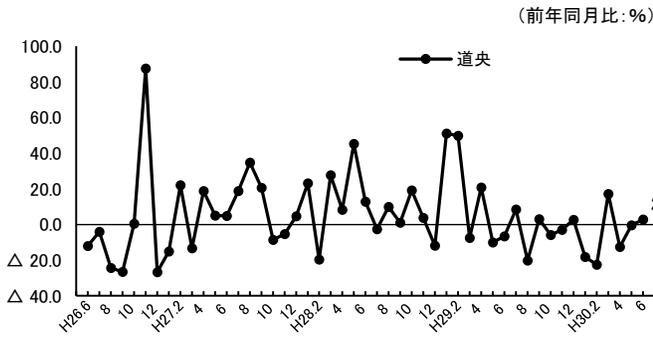
3か月連続で前年を下回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数 (6月)

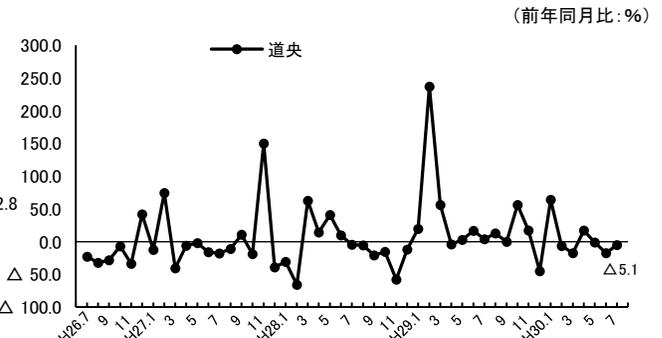
3か月ぶりに前年を上回った



(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (7月)

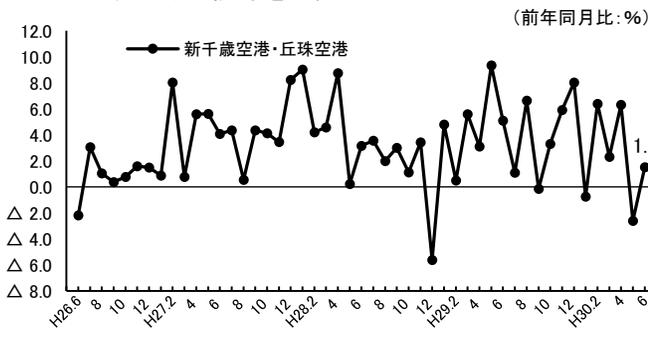
3か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)

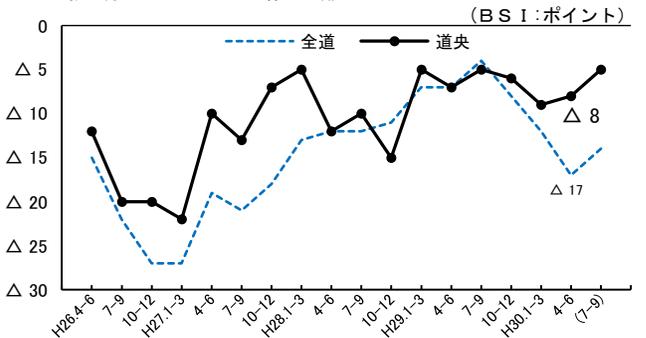
2か月ぶりに前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感 (4-6月期)

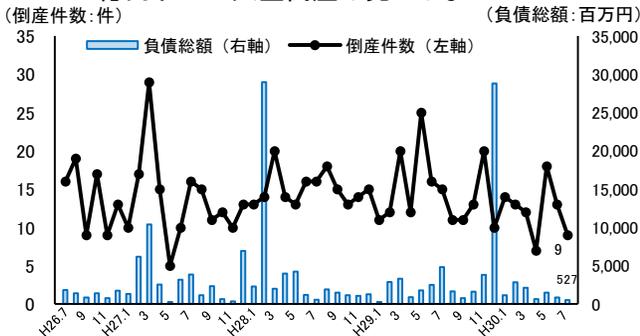
前期からマイナス幅が縮小した



(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (7月)

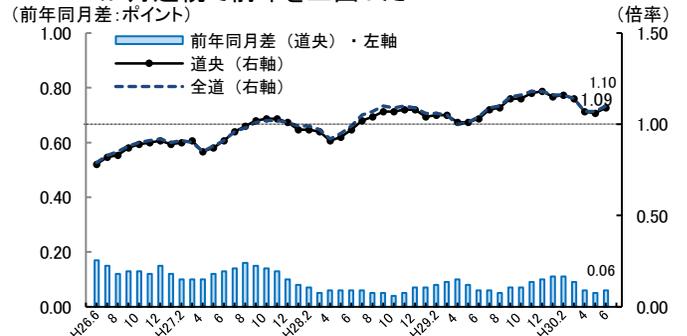
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆有効求人倍率(常用) (6月)

100か月連続で前年を上回った

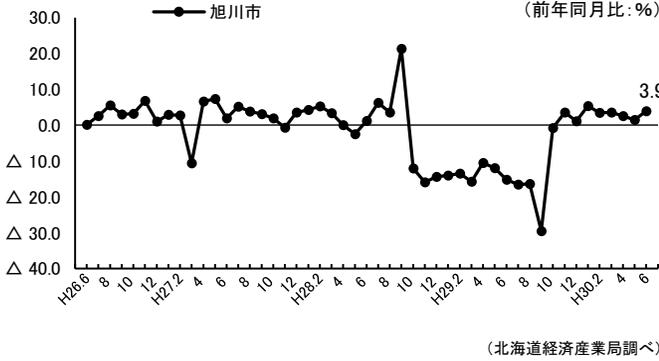


(北海道労働局調べ)

道北地域(留萌、上川、宗谷)

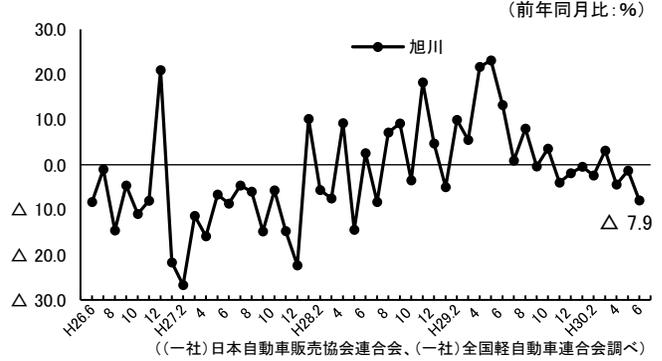
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(6月)

8か月連続で前年を上回った



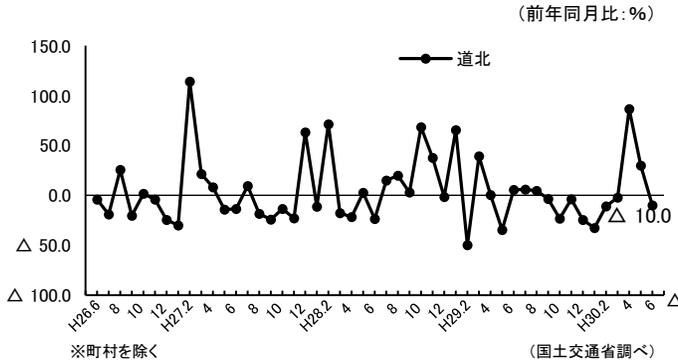
◆新車登録台数(乗用車)(6月)

3か月連続で前年を下回った



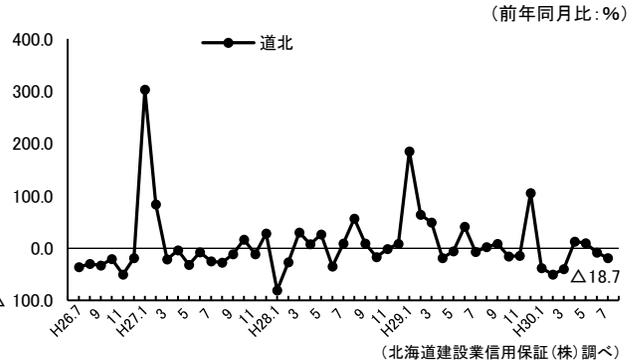
◆新設住宅着工戸数(6月)

3か月ぶりに前年を下回った



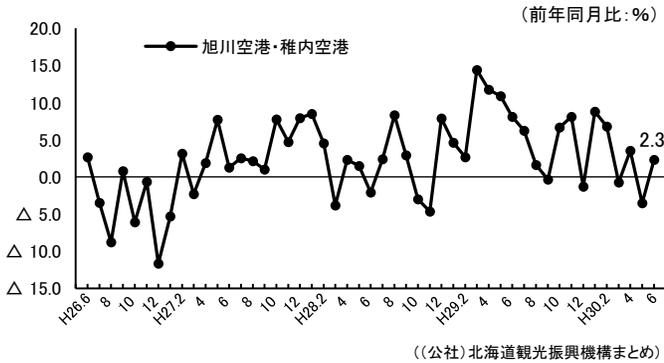
◆公共工事請負金額(7月)

2か月連続で前年を下回った



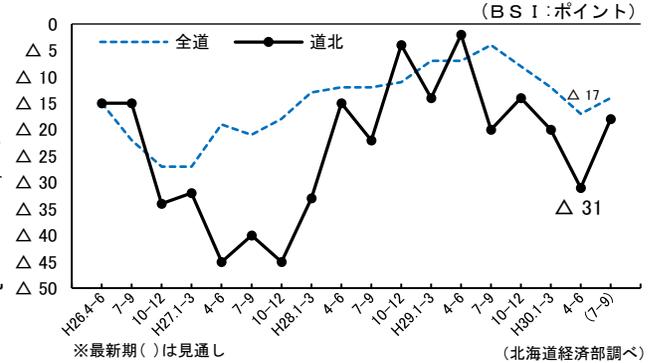
◆航空機利用による来道者数(着地別)(6月)

2か月ぶりに前年を上回った



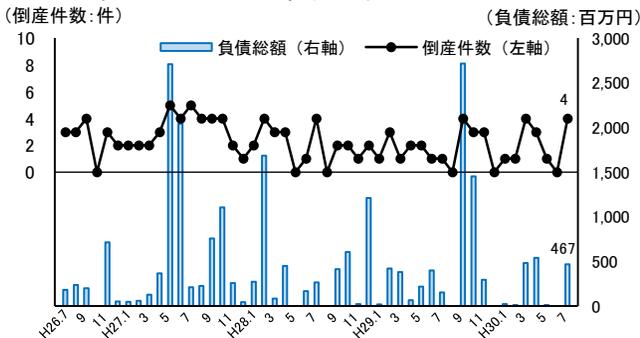
◆企業の業況感(4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した



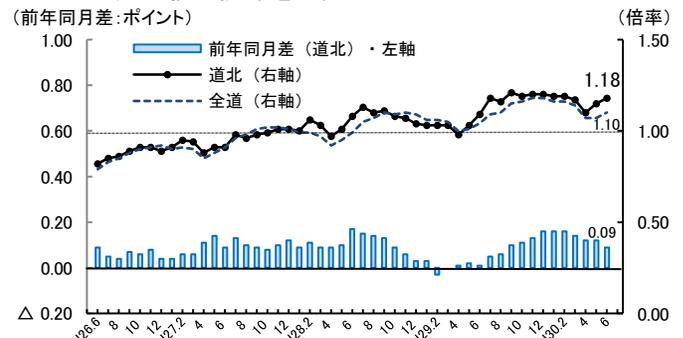
◆企業倒産件数・負債総額(7月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(6月)

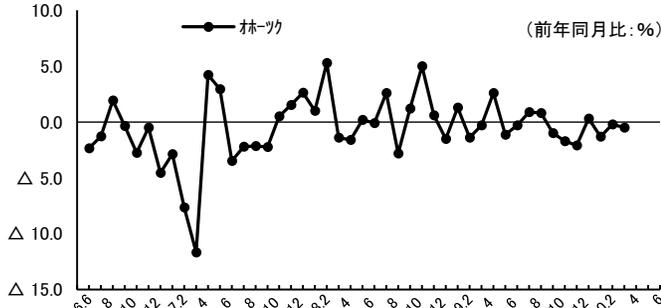
15か月連続で前年を上回った



オホーツク地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(3月)

3か月連続で前年を下回った

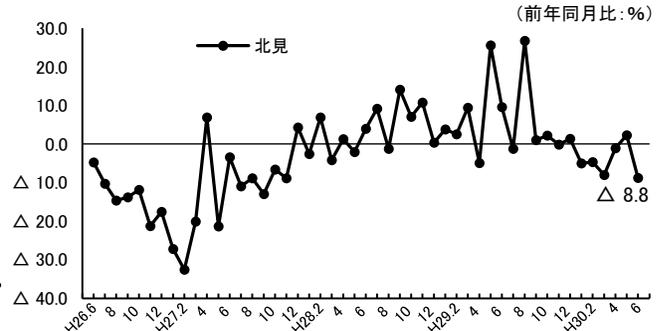


※全道は大型小売店販売額

(北海道財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(6月)

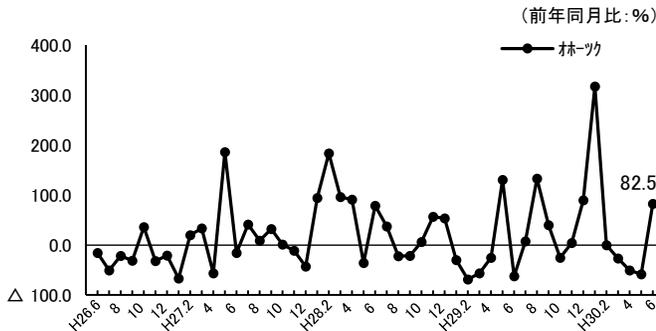
2か月ぶりに前年を下回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(6月)

5か月ぶりに前年を上回った

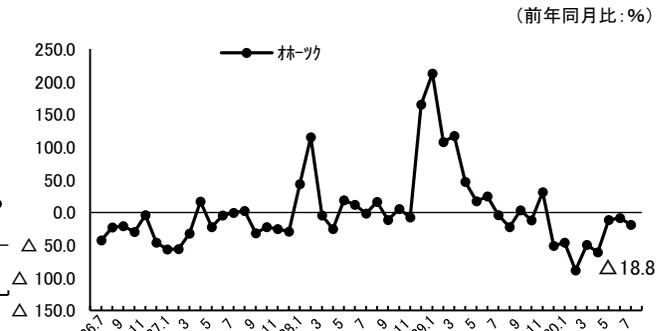


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(7月)

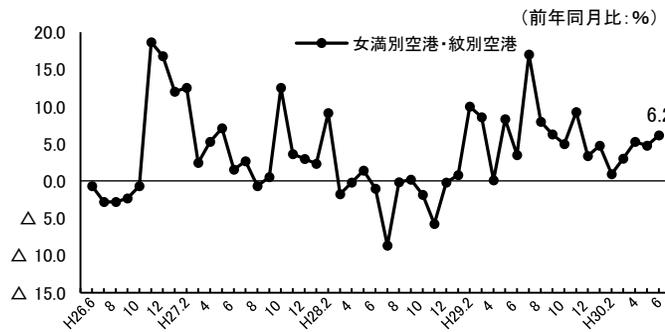
8か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(6月)

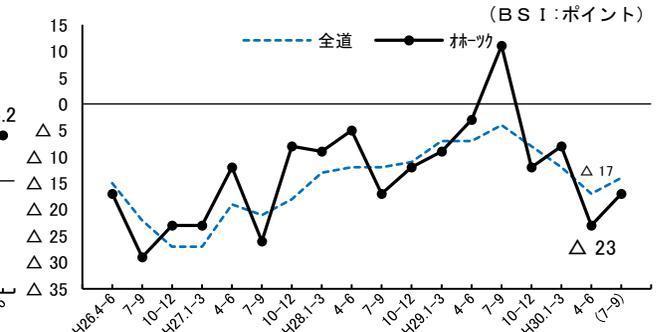
18か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した

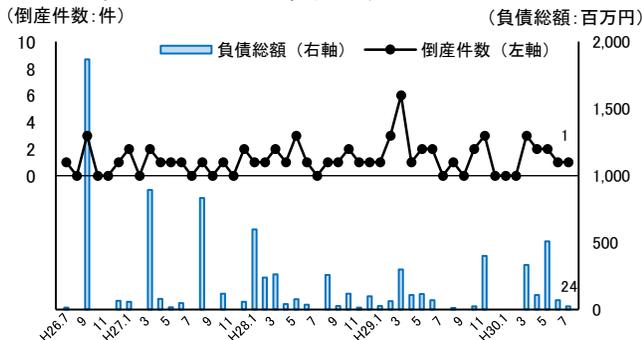


※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(7月)

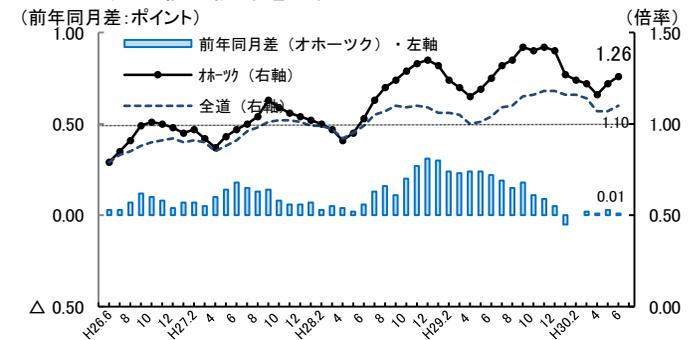
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ) - 14 -

◆有効求人倍率(常用)(6月)

4か月連続で前年を上回った

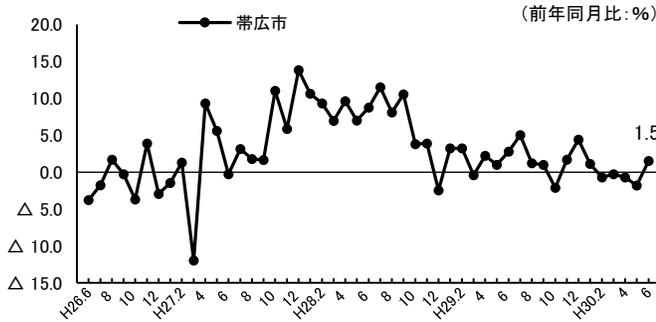


(北海道労働局調べ)

十勝地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース) (6月)

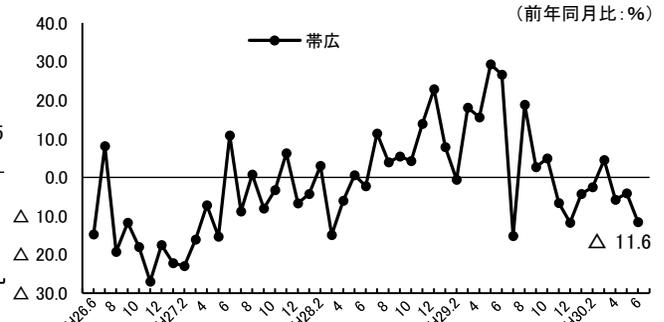
5か月ぶりに前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (6月)

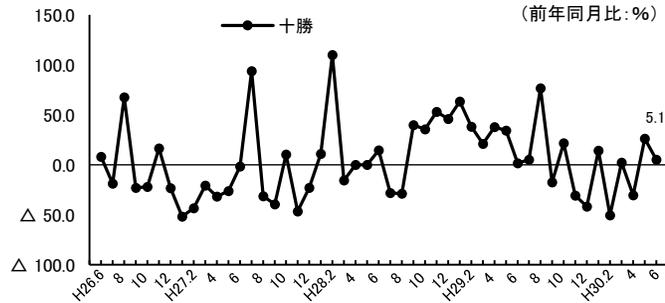
3か月連続で前年を下回った



(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数 (6月)

2か月連続で前年を上回った

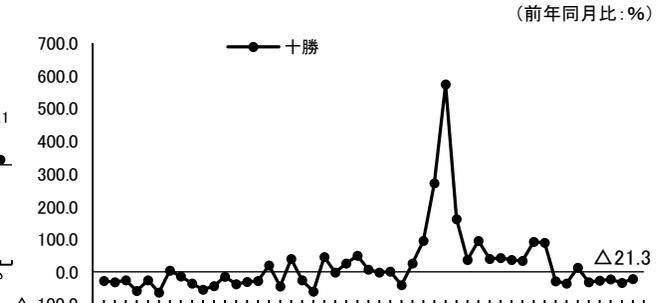


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (7月)

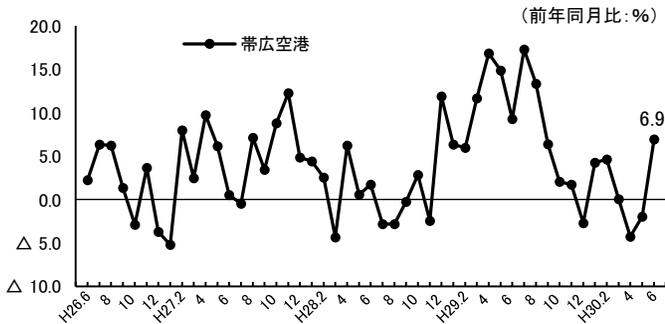
5か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)

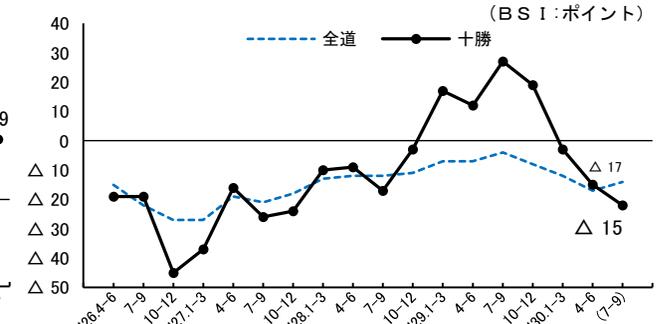
3か月ぶりに前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

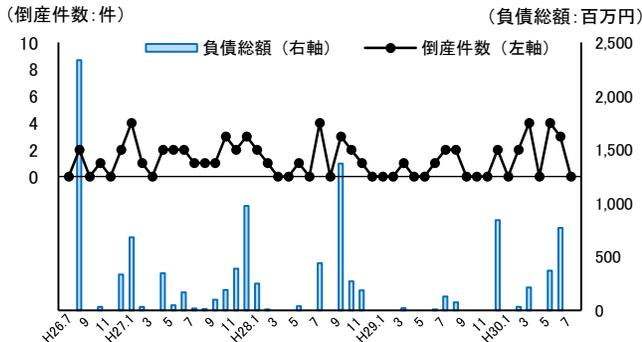
◆企業の業況感 (4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した



◆企業倒産件数・負債総額 (7月)

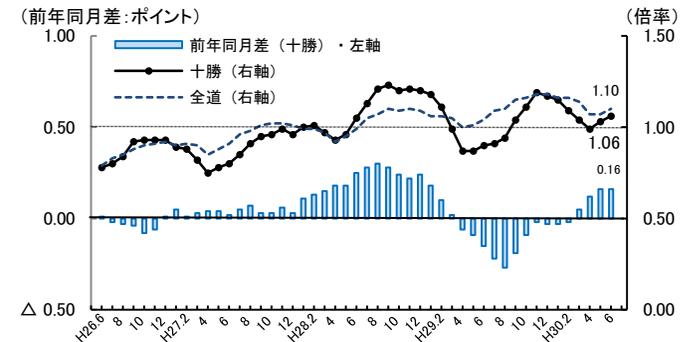
倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ) - 15 -

◆有効求人倍率(常用) (6月)

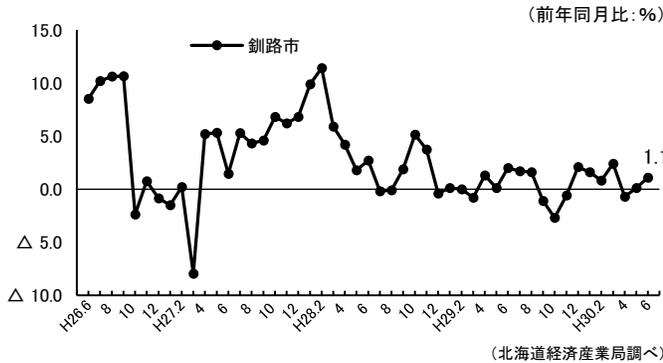
4か月連続で前年を上回った



釧路・根室地域

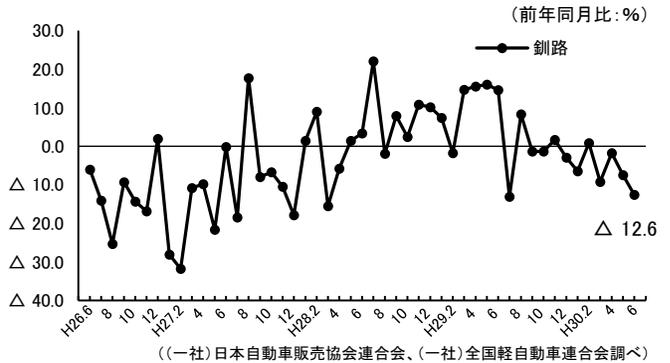
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース) (6月)

2か月連続で前年を上回った



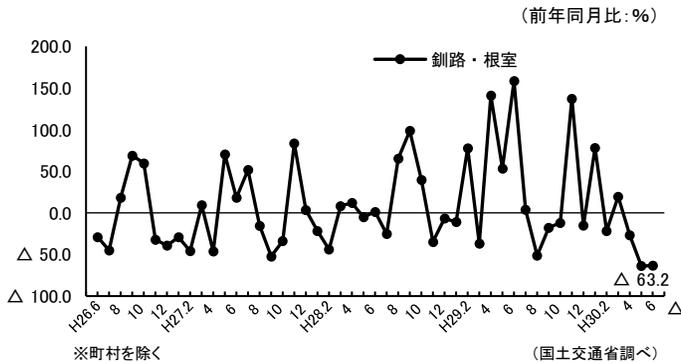
◆新車登録台数(乗用車) (6月)

4か月連続で前年を下回った



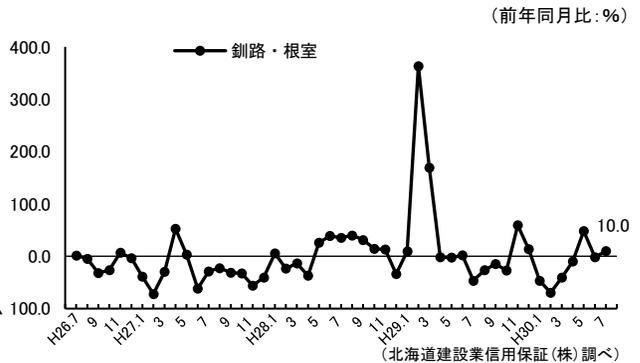
◆新設住宅着工戸数 (6月)

3か月連続で前年を下回った



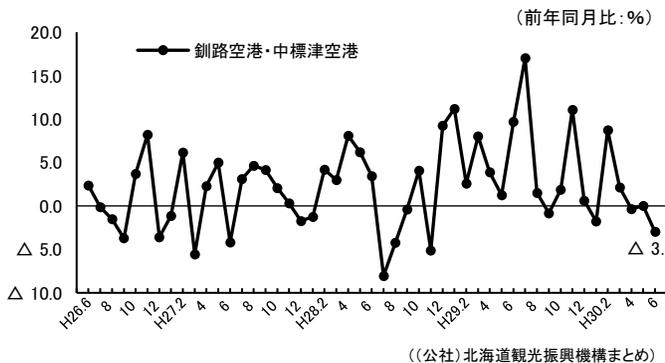
◆公共工事請負金額 (7月)

2か月ぶりに前年を上回った



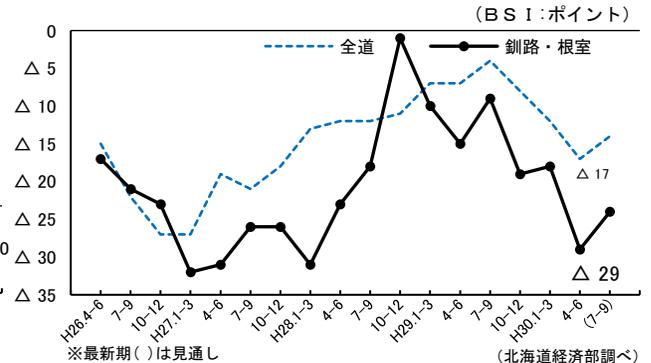
◆航空機利用による来道者数(着地別) (6月)

2か月ぶりに前年を下回った



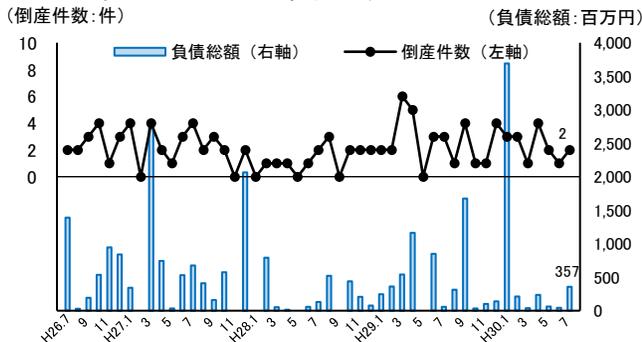
◆企業の業況感 (4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した



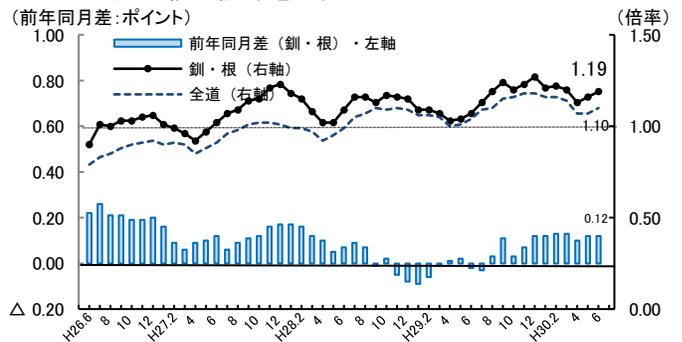
◆企業倒産件数・負債総額 (7月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用) (6月)

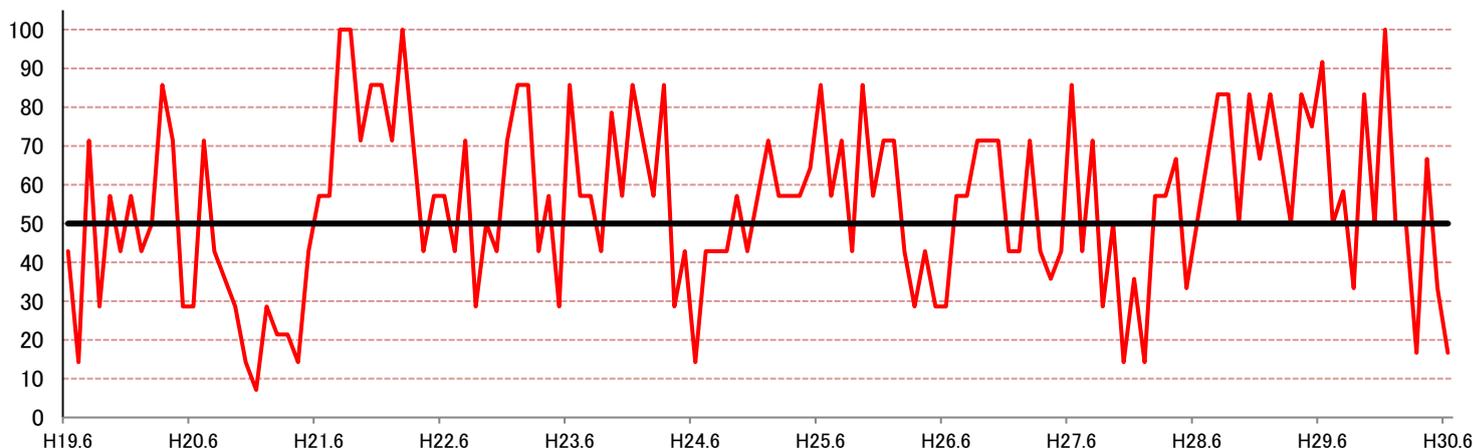
11か月連続で前年を上回った



[景気動向指数]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		29/ 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	+	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-
	生産指数(生産財)	-	+	+	-	+	+	+	-	-	-	+	r +	p +
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-
	新設住宅着工戸数	-	-	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	-	+	-
	企業業況判断D.I.	+	+	+	+	0	0	0	-	-	-	+	+	+
	拡張系列数	3	4	5	4	2.5	4.5	3.5	2	2	3	4	6	3
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	42.9	57.1	71.4	57.1	35.7	64.3	50.0	28.6	28.6	42.9	57.1	r 85.7	p 42.9
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	0	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-
	生産指数(鉱工業)	+	-	0	-	+	-	+	-	-	-	+	r +	p -
	出荷指数(生産財)	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	+	r +	p -
	百貨店販売額(既存店)	+	-	+	-	+	-	+	-	-	-	+	r -	p +
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	+	+	+	+	-	+	+	+	-	+	r -	p -
	拡張系列数	5.5	3	3.5	2	5	3	6	3	3	1	4	2	1
	採用系列数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
一致指数	91.7	50.0	58.3	33.3	83.3	50.0	100.0	50.0	50.0	16.7	66.7	r 33.3	p 16.7	
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	-
	完全失業率(逆サイクル)	0	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-
	消費者物価指数(総合)	+	0	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	+	+	+	+	-	-	+	-	+	-	+	-
	生産指数(資本財)	+	-	+	-	+	-	+	-	+	+	+	r +	p -
	拡張系列数	3.5	2.5	5	3	3	1	3	3	3	4	2	3	0
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	遅行指数	70.0	50.0	100.0	60.0	60.0	20.0	60.0	60.0	60.0	80.0	40.0	r 60.0	p 0.0

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
平成30年8月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>